

横田基地で防災週間始まる *Yokota kicks off Fire Prevention Week*

October 11, 2023

By Airman 1st Class Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

10月5日、横田基地で第374施設中隊消防署の署員が「防災週間」の開始宣言式を行った。

その宣言式で、第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐と同航空団最先任上級曹長のジェリー・ダン最上級曹長が、防災週間を開始する宣言書に署名し、その啓蒙活動の成功に尽力することを誓った。そして両高官は、横田消防署員の地域社会への貢献に対し、感謝の意を伝えた。

「基地住民の安全に絶え間なく努めている消防署員の尽力に感謝します」とダン最上級曹長と感謝の言葉を述べた。「皆さんは日々のミッションに欠かせない存在です。すべての努力に感謝します」

横田基地の防災週間は正式に10月8日に始まり、10月14日までのあいだ、パレード、実火災・消火訓練の実演、消防署のマスコットとのふれあいなどの催しが行われる。

防災週間は101年前から行われており、火災予防のための安全対策の普及・啓発活動を行っている。

「1920年代から毎年10月、(消防士たちは)子供や大人に防災の重要性を広めている」と、第374施設中隊火災予防事務局消防検査官オースティン・ナッシュ軍曹は言う。「いざという時に、我々が何者かを知り、安心してもらえるよう、外に出て家族らと交流したい」

今年のテーマに「調理の安全」が掲げられている。第374施設中隊消防署は横田基地の住民に対し、調理時の火災予防を呼びかける。

米国では、調理が住宅火災の主要な出火原因となっており、2016年から2020年の間に消防署が出動した件数は年間16万6400件以上にのぼる。横田基地では、「防災週間2023」の期間中、台所に火災の危険がないかチェックし、安全な調理を実践するよう、基地の住民に呼びかけることとしている。

